

附属図書館における図書館利用者の個人情報の取扱いについて（案）

京都大学附属図書館

京都大学附属図書館（以下「図書館」という。）は、「京都大学における個人情報の保護に関する規程」（平成17年度達示第一号）に基づき、図書館利用者の個人情報（以下「個人情報」という。）を以下の通り取扱います。

1. 個人情報とは

図書館が管理する個人情報には、以下のものがあります。

① 利用者情報

利用者の氏名・住所等の個人を識別できる情報及びそれらを特定できる利用者 ID

② 利用情報

入館日時、閲覧、貸出、複写など各種サービスの申込み日時、サービスを受けるために請求した資料名、レファレンスサービスの申込み及び問い合わせの内容など

2. 個人情報の取得

図書館は業務を遂行するうえで必要な限度内において、以下の方法で利用者情報、利用情報を取得しています。

① 大学内の他部署から取得する

② 各種図書館サービスの申請書等から取得する

③ 業務上で取得する

3. 個人情報の利用目的

図書館が取得した個人情報は、以下の目的にのみ使用します。図書館がこれ以外の目的のために使用することはありません。

① 図書館サービスの提供

利用者が図書館サービスを申込み、該当サービスが終了するまでの過程で個人情報を使用します。

② 利用者情報の保持

利用者情報は有効期限まで保持します。ただし、有効期限が過ぎても各種サービスが終了していない場合は、終了するまでの間、利用者情報も保持します。

③ 統計

業務状況の把握及び図書館サービスの向上に資することを目的として、利用情報を

基に必要な応じて統計資料を作成します。ただし、入館に際して得られる情報は日時処理で統計情報を作成した後その情報は消去します。

4. 個人情報の本学以外の第三者への提供

図書館では以下の場合を除き、個人情報を本学以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令の定めに基づく場合や、本人の事前の同意がある場合は除きます。

- ① 文献複写、相互貸借、紹介状の発行など図書館間相互利用サービスの依頼先館に対して入手（利用）を希望する資料名とともに氏名、所属を通知する場合
- ② 個人情報が含まれるデータの入力・作成を業者に委託する場合は、適正な基準により業者を選定し、該当個人情報の紛失、漏洩、改ざん等の不正な取扱いがなされないよう必要な契約を締結し、その業者に対し必要かつ適切な監督を行います。

5. 個人情報の管理

- ① 利用者情報や利用情報は、上記の使用目的で図書館業務を行う者のうち、業務毎に権限を有する者にしか取り扱えないように管理しています。
- ② 業務に必要な範囲を超える個人情報の参照や変更は行いません。
- ③ 個人情報に誤りがあった場合、あるいは本人から訂正依頼があった場合は、所定の手続きにより速やかに訂正します。
- ④ 利用者情報や利用情報が記録されたコンピュータは適切な場所で管理します。
- ⑤ コンピュータは外部からの不正なアクセスができないように保護を講じています。
- ⑥ 個人情報は、使用目的が終了次第、確実に破棄します。

6. 問い合わせ窓口

図書館の個人情報の取扱いについては、附属図書館情報サービス課図書館専門員（TEL:075-753-2626）までお問い合わせください。